

科目名	E コマース論 I		担当教員	河野 公洋	
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	EI2INA304
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容	(空白)				
到達目標及びテーマ	電子商取引の現状とあり方を具体的、実践的に理解し、その創造的構築のための手がかりを得ることを目的とする。				
授業の概要	インターネットの発達により国内はもちろん国際的にも商取引の形態がダイナミックに変貌した。これまでは、商社や大企業を中心としたビジネスが大半を占めていたが、最近ではメーカーや流通業の商取引が急速に普及・拡大している。本講義はこうした電子商取引の仕組みや現状、そのメリットや問題点などをテーマとしたものである。IT活用によるデータ交換と情報共有の進展と問題点をE D I、C A L Sなどを通して学び、さらにeビジネスにおける諸主体間の関係性の特質や問題点をS C M (ロジスティクス)、C R Mなどを通して学ぶ。				

授業計画	
第1回	E コマースとは? E C (電子商取引) の類型と現状 (2~12企業間 E C、13~15企業・消費者間 E C)
第2回	E Cとは? E Cの類型と現状
第3回	E Cの歴史の変遷① 情報ハイウェイとロジスティクス
第4回	E Cの歴史の変遷② わが国のビジネス電子化
第5回	E Cの歴史の変遷③ 今日的な話題
第6回	ITの進展と経済・社会の変化 (ユビキタス社会)
第7回	IT化の現状と課題
第8回	IT化と小売業① 企業間EC
第9回	IT化と小売業② 企業-消費者間EC
第10回	IT化と製造業① 企業間EC
第11回	IT化と製造業② DC
第12回	電子マネーとキャッシュレス決済
第13回	EC時代の広告戦略
第14回	インターネットマーケティングと消費者
第15回	モバイルE Cの実情

事前学修	2時間	E コマースとは? E Cとは何かを事前に調べておくこと。
事後学修	2時間	講義内容を復習し、講義ノートを読み返すこと。
フィードバックの方法	UNIVERSAL PASSPORTを使います。。	

補足事項	尚、単位互換などをご利用の履修者は、総合的に単位を認定します。
------	---------------------------------

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特に定めない。	特に定めない。	特に定めない。	特に定めない。	参考図書を講義中指示する。
参考資料	講義中随時紹介する参考図書、配布する参考資料を十分活用する事。			

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80%	
レポート	20%	